日本キリスト教団 東金教会〔３４〕

2017年8月20日 聖霊降臨節第１２主日礼拝

年度目標 《神と共に闘う信仰者》

聖　句 しっかりと立つことができるように、神の武具を身に着けなさい。 エフェソ書６章１３節

【礼拝式次第】

司式	立村
奏楽	中部
受付	阿延
案内	安田
名札係	武川
礼拝感謝祈祷	森田
〃 〃	藤
前奏	中里
讃美歌 271B	一同
使徒信条 566	〃
交読文 33	司・会衆
主の祈り 564	一同
聖書 ヨハネ福音書 3章16節	司会者
祈祷	藤田
新聖歌 91	一同
み言葉の伝え	岡村
「神の存在と神の愛」	
讃美歌 337	一同
献金	
礼拝感謝	森川
〃 〃	藤田
報告	足立
頌栄 541	一同
祝祷(派遣)	中村
後奏 新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 (休会)
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
山田台集会 8月22日(火)午後7:30～
交わり会 本日礼拝後
聖書輪読会 8月27日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 8月27日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は岡村　長老が講壇を守って下さいました。ご奉仕を感謝致します。
☆本日の交わり会は牧師誕生日会を兼ねて持たれます。ご出席下さい。
☆9月17日の敬老感謝会のご案内が出来ております。お受け取り下さい。75歳以上の方が該当者です。宜しくお願いします。又、今年も大熊　姉より敬老会のプレゼントを頂戴しております。
☆「朱鷺が峯」第31号が藤田　兄のご奉仕により出来ております。既報のように朴貞蓮牧師就任特集号として通常より多く印刷されております。伝道にお用い下さい。
☆８月２７日は朴牧師が講壇を守られます。
☆渡辺健一牧師が赴任された徳之島伝道所よりマンゴー等の宅配のご案内がきております。ご注文下さい。
☆夏期献金をお覚え下さい。
☆8/23の祈祷会は中村牧師の夏期休暇により休会です。

【定期長老会報告】

日時…8月13日礼拝後　場所…教会事務室
出席…中村牧師　森川　(書記)　岡村
　　足立　土屋　安延
議事…①教会納骨堂の外装を整える件(森川長老に見積依頼)　②敬老祝会(9/17)の件
③幼稚園・教会学校合同運動会(於・教会グラウンド但し雨天の場合は東金中体育館)の祝辞を足立　長老に依頼の件　④幼稚園創立百周年記念(2019年2月)検討の件

【8月20日～8月26日の誕生者】

○永井　姉　○佐藤　兄　○中村征一郎牧師
※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(8/13)	18	28	46
聖研祈祷会(8/9)	休会		
聖書輪読会(8/13)	3	3	6
教会学校(8/13)	7	12	19

早天祈祷会 日	男	女	計
8/14			
8/15			
8/16			
8/17			
8/18			

主日礼拝献金(7/30)……３２、２０２円
教会学校献金(7/30)……4、６６０円

【今日のメッセージ】

題　[神の存在と神の愛]
聖　書　ヨハネ福音書３章１６節
1.
2.
3.

【次週(8月２７日)礼拝案内】

題　[空きを満たす]
聖　書　創世記２４：６２～６７
交読文　３４
讃美歌　７１番　３２４番
新聖歌　３９２番

【次週(８月27日)礼拝当番者】

御言葉の伝え…	朴　貞蓮
司式者…	藤田
奏楽者…	中村
受付者…	深山
案内者…	武田
名札当番…	戸波
礼拝感謝祈祷…	安延
〃 〃 …	藤本
csお話し…	森川
会堂清掃者…	幼稚園教諭
〃 〃 …	
花係…	小林
看板書き…	藤田

【聖書から】

愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。
ローマ書一二章一九節

人間の持つ感情の中で最も強い感情は何だろうか。聖書は「愛する」ことを私たちに伝える。「愛は、すべてを完全に結ぶ心の帯」と聖書は言う。愛こそは私たちと他者との関わり、即ち、そこで生起する様々の人間的折衝を健全に繋ぐ道具だと言う。いや、愛はそれだけでなく神と人とを繋ぐ最も大事な究極の道具でもある。神と人、人と人を健全に結ぶに欠かせないもの、それが「愛」である。聖書が伝えることはそういうことである。だから神はその愛を実現させるために御子をも十字架に差し出したのである。けれども人はその差し出された愛を正しく受けとれない。愛と対立するもの、即ち、憎しみに慣れ親しんでいるのが人の現状なのではないか。憎しみは私たちの心の最奥に巣食い、そして私たちの周り至る所にある。人と人、個人と社会、国と人、国家と国家、まるで人を繋ぐ帯が愛であるよりも憎しみであるかのように、憎しみの帯は超強力である。現代に蔓延しているテロなどはその最たるものであろう。しかもそれが宗教的心情と結びつき、その行いを正当化し、それに対し我らクリスチャンが憤ったりしている。人の心の中に巣食う憎しみの心が巨大化し、人々を巻き込み、社会化し、世界を覆う渦となっているのである。いったいこのような心の闇を私たちはどうしたら征服できるのか。

神が教えるのは、憎しみを神に委ねることである。神は私たちの持つ憎しみの感情を持つなと云われない。又、その信仰によって征服せよと云われない。なぜなら憎しみこそは罪の罪、罪の究極の現れであるからである。憎しみの心は私たちの手に負えない。だから神に任せよ。「復讐はわたしのすること」と云われる。復讐は罪に対する罪の応酬である。そのような罪を神は敢えて冒すのである。それは云うまでもなく私たちに対する愛の故である。復讐の思いを神に託する信仰を何としても持ちたいものである。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。